※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０３

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「現代高等保健体育」　（大修館出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・健康・安全について理解しよう。
・健康的な生活行動について学ぶ。
・日常生活で直面するであろう健康課題を知り、その解決方法を考える。
・健康や安全についての社会的な取組や個人での対応について知る。
・身近な健康問題に興味をもってもらう。

2　学習の到達目標

保健の見方・考え方を働かせ，合理的，計画的な解決に向けた学習過程を通して，生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し，改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

・　個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに，技能を身に付けるようにする。（知識及び技能）
・　健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。（思考力、判断力、表現力等）

生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりをめざし，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題の解決に役立ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題についての解決をめざして、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、個人生活及び社会生活における健康・安全課題について、意欲的に学習に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	安全な社会生活	01 ライフステージと健康 ・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。 02 思春期と健康 ・思春期における体の変化を，女性と男性に分けて説明できる。 ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。 性意識と性行動の選択 ・性意識の男女差について例をあげて説明できる。 ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。	a：思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面，心理面，行動面などの変化に関わり，健康課題が生じることがあることについて，理解している。 b：生涯の各段階における健康について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について，習得した知識を基に，心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために，性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について，習得した知識を基に，結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて，保健・医療サービスの活用方法を整理している。 c：生涯の各段階における健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	考査	レポート 考査	振り返りシート 授業態度 ノート提出
		04 妊娠・出産と健康 ・妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。 ・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができる。 避妊法と人工妊娠中絶 ・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。	a:結婚生活について，心身の発達や健康の保持増進の観点から理解している。 ・受精，妊娠，出産とそれに伴う健康課題について，理解している。 ・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて，理解している。 b：・思春期と健康について，習得した知識を基に，心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために，性に関わる情報を適切に整理している。			

※令和４年度以降入学生用

1学期	安産な社会生活	05 結婚生活と健康 ・心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。 ・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。 06 中高年期と健康 ・加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。 ・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて例をあげて説明できる。	・結婚生活と健康について，習得した知識を基に，結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて，保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・中高年期を健やかに過ごすためには，若いときから，健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと，生きがいをもつこと，運動やスポーツに取り組むこと，家族や友人などとの良好な関係を保つこと，地域における交流をもつことなどが関係することについて，理解している。 c：生涯の各段階における健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	考査	レポート考査	振り返りシート 授業態度 ノート提出
2学期	健康を支える環境づくり	01大気汚染と健康 ・大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。 ・大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。 02大気汚染、土壌汚染と健康 ・水質汚濁，土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 ・大気，水，土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。 03環境と健康にかかわる対策 ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。 ・産業廃棄物の処理について説明できる。 04ごみの処理と上下水道の整備 ・ごみの処理の現状やその	a:人間の生活や産業活動は，大気汚染，水質汚濁，土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こことについて理解している。 ・健康への影響や被害を防止するためには，汚染物質の排出をできるだけ抑制したり，排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて理解している。 ・健康への影響や被害を防止するため総合的・計画的対策が講じられていることについて理解している。 ・上下水道の整備，ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は人々の健康を守るために行われていることについて理解している。 ・人々の健康を支えるためには，食品の安全性を確保することが重要であることを理解している。 ・食品の安全性を確保するために，食品衛生法などの法律等が制定されており食品の製造・加工・保存・流通など，各段階での適切	考査	レポート考査	振り返りシート 授業態度 ノート提出

※令和４年度以降入学生用

		課題について説明できる。 ・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。 05食品の安全性 ・食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できる。 ・食品の安全性に関する今日的課題について説明できる。 06食品衛生にかかわる活動 ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。 ・食品の安全性を確保するための個人の役割について説明できる。 07保健サービスとその活用 ・保健行政の役割について例をあげて説明できる。 ・保健サービスの活用の例をあげることができる。	な管理が重要であること理解している。 ・食品衛生に関わる健康被害の防止と健康の保持増進には，適切に情報を公開，活用することが重要であることについて理解している。 ・人々の健康を支えるため行政及びその他の機関などから健康に関する情報，医療の供給，医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて理解している。 ・健康を保持増進するためには，保健機関，病院や診療所などの医療機関，及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて，理解している。 ・医薬品は，承認制度によってその有効性や安全性が審査されており，販売に規制が設けられていることについて理解している。 ・医薬品の特性を理解した上で，使用法に関する注意を守り，正しく使うことが必要であることについて理解している。 b:環境と健康について自他や社会の課題を発見している。 ・自然環境汚染について，事例を通して整理し，疾病等のリスクを軽減するために，環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 ・環境と健康について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを筋道を立てて説明している。 ・食品と健康について自他や社会の課題を発見している。 ・食品の安全性と食品衛生に関わる活動について健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てている。 ・様々な保健活動や社会的対策について，健康に関わる原則や概			

※令和４年度以降入学生用

			念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について，関連した情報を整理し，課題解決に応用している。 ・様々な保健活動や社会的対策について筋道を立てて説明している。 c：環境と健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 食品と健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。			

※令和４年度以降入学生用

3学期	生涯を通じる健康	働くことと健康 ・働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。 ・働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。 労働災害と健康 ・労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 ・労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。 健康的な職業生活 ・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 ・余暇を積極的にとることの意義について説明できる。	a：労働による傷害や職業病などの労働災害について理解している。 ・労働災害を防止するには重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて理解している。 ・働く人の健康の保持増進は心身両面にわたる総合的，積極的な対策の推進が図られることで成り立つことについて理解している。 ・積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることについてを理解している。 b：中高年期を健やかに過ごすためには，若いときから，健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと，生きがいをもつこと，運動やスポーツに取り組むこと，家族や友人などとの良好な関係を保つこと，地域における交流	考査	レポート 考査	振り返りシート 授業態度 ノート提出

※令和４年度以降入学生用

			をもつことなどが関係することについて，理解している。 ・働と健康について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について，習得した知識を基に，生活の質の向上を図ることと関連付けて，課題解決の方法に応用している。 ・労働災害と健康について，習得した知識を基に，労働災害の防止に向けて，個人の取組と社会的対策を整理している。 ・労働と健康について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 c：労働と健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度